

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
工業「実習」(選択科目)	建築実習1・2(実教出版) 自作教材・プリント類	2単位	建築科・第2学年

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 建築実習の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>2 建築実習の各分野の技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。</p> <p>3 建築実習の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---------	--

### 2 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查
1学期	1 建築大工について学ぶ (1) 鋸・鑿・鉋の基本 (2) ほぞの作成 (3) 口脇練習 (4) 墨出し練習 (5) 課題の制作	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な図面の作成を行うことにより、理解力や表現力を学習する。</li> <li>道具の正しい使い方を理解させる。</li> <li>怪我がないように慎重かつ丁寧に作業をさせる。</li> </ul>	/
		5		
		6		
		7		
2学期	2 CADについて学ぶ (1) 基本操作について (2) 応用操作について (3) 課題の制作	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体で行う実習よりもさらに細かく、実践的なCAD実習を行い、より高度な知識を習得する。</li> </ul>	/
		9		
		10		
		11		
		12		
3学期	3 建築施工について学ぶ 4 建築模型について学ぶ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築施工に関する知識と技能を習得させる。</li> <li>人間が使いやすい家を設計させる。</li> </ul>	/
		2		
		3		

### 3 評価規準及び評価方法

#### (1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	建築実習の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	建築実習の各分野の技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。	建築実習の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

#### (2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	製図、制作課題を正確につくる知識・技能を、作品や作業過程で総合的に判断する。	製図の表現方法、製作課題の創意工夫を、授業中の工程や作品等で総合的に評価する。また、課題を見つけ、解決する考察力を評価する。	集中して取り組む態度や安全で実践的な態度、生徒による自己評価や相互評価等で総合的に評価する。

### 4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<p>建築実習の内容を十分に理解し、根気強く丁寧にかつ正確に作業をしなければならない。また、互いに協力し合う態度を養い、社会で求められるいろいろな技術を体験的に理解し身に付けましょう。</p>
--